

地域活性化事業の予算拡充 朝日南部で冬期間の高齢者交流促進

旧町村の地域活性化事業予算は平成29年度朝日地域で大きく拡充されています。

消費地で山ぶどうの販売宣伝に『里の幸』販売推進事業費補助金200万円、旧朝日大

泉小の屋内運動場にマツト整備し、冬期間の高齢者の交流を推進する「地域内交流促進事業補助金」160万円が追加されました。

史跡松ヶ岡開墾場の保存・活用計画を策定する「松ヶ岡地域振興事業」1105万円や、手向宿坊街の修景整備に支援する「門前町歴史まちづくり推進事業」1551万円などです。

鶴岡市 地域振興のビジョンに基づく施策の推進

課題	事業名	事業費					29年度 事業内容
		H29	H28	H27	H26	H25	
地域振興に関する懇談会の開催	地域振興懇談会運営事業	136万9千円	137万9千円	143万7千円	486万3千円	486万9千円	・地域振興懇談会を開催し、各地域の課題解決策や地域の活性化策について協議を進める。
地域振興計画の推進	地域活性化事業(藤島)	503万7千円	510万7千円	372万5千円	249万9千円	261万9千円	・都市消費者との交流等による人と環境にやさしい農業・農産物の理解促進 ・ふじをテーマとした歴史公園の魅力向上及びふじの育成・管理に取り組むボランティア団体の育成支援 ・庄内農業高等学校と地域、関係団体等が連携し取り組む地域活性化に向けた事業への支援 ・市内各地の伝統芸能が一堂に会する鶴岡伝統芸能祭を開催する事業への支援
	地域活性化事業(羽黒)	211万円	219万4千円	230万2千円	217万1千円	298万5千円	・松ヶ岡地域振興ビジョンに基づく地域活性化に向けた取組への支援 ・出羽三山の精進料理を地域内外へ広くPR、宿坊街に誘客を図る事業への支援 ・月山高原エリアのPR推進の取組に対する支援 ・映画口ケ誘致や映画を活用した誘客事業への支援
	地域活性化事業(榎引)	211万円	201万4千円	225万3千円	235万4千円	232万7千円	・「フルーツの里」としてのブランド化と担い手育成・6次産業化の推進の取組に対する支援 ・JA青年部が行う都市農村交流と農産物の販路拡大に向けた事業への支援 ・黒川能鑑賞者向け共通宿泊メニュー開発等に取り組む農家民宿に対する支援 ・くしびき夏のイベントの開催支援 ・黒川能の後継者育成、保存伝承研究会開催に対する支援 ・大学の能楽研究会等の合宿や練習会の誘致による交流事業への支援 ・丸岡城跡交流事業等に対する支援
	地域活性化事業(朝日)	617万4千円	286万8千円	321万5千円	188万円	197万5千円	・農産物の集荷から産直までの物流支援、市街地の高齢者向け移動販売への支援 ・月山ワイン等の販路拡大への取組に対する支援 ・食と六十里越街道トレッキングを組み合わせたイベント等開催への支援 ・朝日地域の行事日程や伝統風習、自然景観等を掲載した地域振興カレンダーの作成 ・高齢者の生涯学習や健康づくり、地域内交流促進への取組に対する支援
	地域活性化事業(温海)	600万6千円	609万7千円	651万2千円	220万円	110万2千円	・焼畑温海かぶのブランド力を更に向上させる取組への支援 ・小国交流促進センター及び楯山荘を活用した都市・農山村交流事業への支援 ・福栄地域協議会「福の里」が実施する体験活動等への支援 ・しなの花を活用した加工品の事業化に向けた取組への支援 ・観光コーディネーターの設置による体験旅行推進事業への支援 ・あつみ温泉おもてなしまつりの開催、朝市広場活性化への支援
地域間の連携した取組の推進	地域間連携事業	200万円	200万円	280万円	408万3千円	708万9千円	・「せせらぎの能」や市内各地の伝統芸能を紹介するイベントの実施
地域活性化事業 合計		2480万6千円	2165万9千円	2224万4千円	1110万円	1401万円	

私の昭和 61

鈴木重雄(89歳・八色木)

書き終えて

私は、大正から昭和に年号が変わった初年(1927年)に生まれた。

昭和初期は東北地方を襲った凶作で娘売りまであった。

そして次三男対策として新天地を求めて満州大陸に渡った。

やがて満州事変(昭和6年9月)、支那事変(昭和12年7月)、太平洋戦争(昭和16年12月)へと、農村不況と戦争

に明け暮れた青少年期を過ごしてきた。

今回「民報藤島」の好意により、生きた90年をありのままに書いてみた。

私は村に生まれ、村で育ち職場も地元で、全く井の中の蛙である。

故郷を離れて久しぶりに帰省した人は、村の家並みや近代化された施設に驚き戸惑う、周囲の山々を眺めて、

やっぱり故郷だと納得する。

視野の狭い私で老いても深まった。老いることは人間の自然で拒むことはできない。

竹馬の友や同年輩の人たちの多くは鬼籍に入り聞く由もない。

生き残った知己の友から助けられ綴ってみました。

掲載にあたって加藤 一さんには大変ご苦労をおかけしました。厚く御礼申し上げます。

鈴木重雄



私の昭和

鈴木重雄(八色木)

1年半に渡った連載を1冊にまとめました。

最後に早坂清輔氏の寄稿を掲載しています。

(A4版47頁・実費300円で頒布)

新品種「雪若丸」

藤島地域にある県水田農業試験場で誕生した水稲新品種「山形12号」(平成30年デビュー)の名称が16日、「山形112号ブランド化戦略実施本部会議(本部長 吉村美栄子県知

事)」において「雪若丸」に決定しました。

この品種の「しつかりした粒感」や稲姿が男性的であり、「際立つ白さ」とつやのある外観が雪のように美しいこと、「つや姫」の弟をイメージできる名称ということで決まりました。



(写真)山形つや姫ブランド化戦略推進本部

自由律俳人 和田光利（わだ あきとし、号は秋兔死）

敗戦間もない昭和21年頃、鶴岡放送局から流れてくるラジオの番組に和田光利の出演する俳句の定時番組があった。

“隣の便所から新聞紙を擦る音が聞こえてくる” 和田秋兔死

その頃、和田は高畑町に住んでいた。この町は私の通学路。何度も道路でお見かけした事がある。ちよび髭を生やしたお顔だったかどうかは忘れたが。

先述の和田の句は、戦争によって殆どの生活必需品が底をついた戦中戦後の世相を詠んだ句である。当時はもちろんトイレットペーパーはなかった。

新しい新聞紙のままではゴワゴワと固い。使用する前にもみほぐして柔らかにする。

50年ほど昔、羽黒町大口の斎藤さんという家のトイレを借りたことがあった。

便器の右前に置かれている箱の中には新聞紙が見当たらず、木の

青い葉が何枚も重ねて入っていた。

農村地帯ではこれが何百年も前から引き継がれてきた“伝統な

のか。

農村ではニシンの魚粕と共に人糞が農作物の肥やしになった。



百姓は荷車や馬車に空の肥桶を載せて、各家の便所の汲み取りをお願いして廻った。そして持ってきた野菜などをお礼として置いてくる。

古き良き時代の自給自足、ゴミやムダがない資源循環型社会の物語



鶴岡公園の文学碑：「麦は刈るべし 最上の川の押しゆく光」（和田 光利）

「あえて言おうカスで ある」暴言する小田原市福祉行政と「憲法を支えに訴える」真摯な障害者

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

先月17日、小田原市福祉担当職員が「あえ



（しんぶん赤旗1月25日付）

語である。

東京農大の小泉武夫名誉教授が（私はゲテモノ食いの大先生と呼んでいるが）、NHKテレビに出演して話していた。

「農村に足運んだ折どこからともなく豊潤な香水の匂いが漂ってきた。その方向へ足を運んだら、何とその源泉は畑の真ん中に掘られた肥壘だった。」

時間をかけていつの間にか化学変化を起したらしい。

と憲法」。「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」

傷相模原事件に続き差別が起きたのです。「憲法は、自分のものにして、はじめて強いものになる」と言い、「国民の不断の努力によつて、これを保持」（第12条）、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」（第25条）、「居住、移転及び職業選択の自由を有する」（第22条）などの憲法を支えに声を出し訴え続ける障害者、暮らしの中に憲法を！共に歩まねばならない。



フロリダの荷物

あの人、元々アメリカが好きだったのに2泊3日で招待され、好きなゴルフで遊んでもらうという歓待を受けたまんだから、もう既にアメリカ好きは病気だぜ。しかも、尖閣を認め同盟は強化する・沖縄は今進めているのが最良だと共同声明してもらったんだから、あの人にとつてこれ以上はないだろう。

▲どっちも自分が最高で、誰が何を言おうと聞く耳持たずとは、育ちからか権力からか。変にも波長も合っているようだが、アバタもエクボの時間はいつまで続くんだか。

▲はじめに大きく脅すような発言で注目させ、会えばそんな心配をよそに、ビックリするほどのご馳走をする。これでは誰でも喜ぶはず。いっぺんに好きに

なるはずだ。しかし喜ばせられながら、どんな荷物を背負わせられたのかだ。国会で聞いても出てこないが、北朝鮮・中国の動きに合わせて防衛力の強化と称して、いろいろな飛行機や大砲の弾をシコタマ買わせられるんじゃないですか。アメリカの雇用確保にも力を貸すとの約束もあるようだからサ。

▲金だけ出せばいいんじゃない血もだせ・との注文に、戦争法を強行採決で南スーダンに自衛隊を送ったんだ。このあとの注文はなんだったんだろうか。これまでもアメリカの思う通りなんだが、これでもいいのかい。

▲あまりにも自分というものが無いからと、今回はアメリカのメディアから「へつらい」と言われた首相の言動各国のトップが意見を言う中、言えなかったしネー。（石川）